

一字一字真剣な表情で

書き初め大会

町教育委員会では1月10日、新たな気持ちで心の豊かさや文化の向上を目指そうと、書き初め大会を中央公民館で行いました。

書き初めは、小・中学生が楷書、一般が行書で、「美しい環境」などの題目に取り組みました。小学生から大人までの37人が、町書道協会の先生から指導を受け、一字一字真剣な表情で筆を動かしていました。参加者は、「家で練習したときより上手に書けました」と話していました。



地元の食材で伝承料理

食の交流会



農家生活改善グループ連絡協議会では1月16日、伝承料理の普及と研究をテーマに食の交流会を中央公民館調理室で行いました。

会員ら18人が参加し、地元で取れた食材を使ってうどんやそば、赤飯、ふかしまんじゅうなど8品目を調理。会長の泉田千代子さんは「手作りの料理は安心して食べられ、とてもおいしいです。会員が伝承料理の技を磨いて地域の皆さんに広めていきたいです」と話していました。

歌いながら手話体験

寿学級

1月24日、ふるさと産業文化館を会場に第9回寿学級講座「心豊かに一緒に歌おう」が開かれました。

同講座は、寿学級生と町内の子どもたちで、歌で触れ合いながら世代交流を図ることを目的に木村紀美江先生を講師に迎え、「大きな歌」「まっかな秋」など全7曲を元気いっぱい合唱。また、参加者たちは「さんぽ」の曲を歌いながら体全体を使って上手に手話をするなど、楽しく過ごしました。



枯れ草火災を未然に防止

明和消防団



明和消防団では2月1日、河川敷の枯れ草火災の発生を未然に防止することやごみの不法投棄防止などを目的に利根川河川敷の枯れ草焼却を行いました。

消防団員や分署職員ら約90人が参加して、斗合田から大輪地先までの河川敷の枯れ草を一斉に焼却。雑草や葎などに点火すると瞬く間に大きな炎となり燃え広がりました。空気が乾燥するこの時期、火の取り扱いには十分注意しましょう。